

2017年9月25日

## ～大分駅における新たな文化創造～ 山口 晃 氏原画による陶板画を設置します

JR九州では、これまで水戸岡 鋭治 氏のデザインによる大分駅および「JRおおいたシティ」の建設など大分駅およびJRおおいたシティの文化的価値を高める取り組みを進めて参りましたが、今回 **現代美術の第一線で活躍されている 画家 山口 晃 氏** の描かれた絵画を陶板画で制作し、大分駅北口（JRおおいたシティ城門）に新たに設置することとなりました。

この陶板画の設置にあたり、10月6日に除幕式を執り行い、関連した企画を展開して参りますのでお知らせ致します。

### <設置される陶板画について>

#### ○ 展示概要

- ・ 設置場所：大分駅北口（JRおおいたシティ城門）
- ・ 内容：書籍「鉄客商売」（2016年 唐池恒二著、PHP 研究所）の表紙画として山口 晃氏が描かれた原画を陶板画で制作したものです（制作：大塚オーミ陶業株式会社）。  
この原画は山口 晃氏が大分駅を視察され着想を得たもので、JRおおいたシティをはじめとした当社のこれまでの軌跡を想起させるものとなっています。
- ・ サイズ：高さ1200mm、幅800mm
- ・ タイトル：「九州鐵道驛中驛外圖」

（設置場所）城門左側、駅名を掲示している下部に設置



- ※ 式典概要：別紙1
- ※ 山口 晃 氏プロフィール：別紙2

## 1 陶板画除幕式

陶板画の設置を記念して、以下の通り除幕式を開催します。

- (1) 日 時 平成29年10月6日(金) 15:00~15:30
- (2) 場 所 JR大分駅北口 (JRおおいたシティ城門)
- (3) 実施体制 主催:九州旅客鉄道株式会社 (JR九州)  
後援:大分県(申請中)、大分市、ドーンデザイン研究所、大分合同新聞社、  
OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送  
株式会社JR大分シティ
- (4) 出席者 画 家 山口 晃 様  
大分県知事 広瀬 勝貞 様  
ドーンデザイン研究所 水戸岡 鋭治 様  
JR九州代表取締役会長 唐池 恒二  
JR九州大分支社長 兵藤 公顕  
JR九州大分駅長 沓掛 和弘  
JR大分シティ代表取締役社長 関 信介

### (5) 式典内容

- 15:00 陶板画除幕・お披露目式  
- ご挨拶 (唐池 恒二、広瀬知事、山口 晃 様)  
- 除 幕 (出席者)
- 15:20頃 記念撮影
- 15:30頃 式典終了

## 2 大分県立美術館におけるトークイベント

今回の陶板画の原画となる作品の制作などにあたり、山口 晃 氏に大分県を巡っていただきました。JRおおいたシティや“ななつ星 in 九州”などのデザインを通じ大分とも関連の深い水戸岡 鋭治 氏にもご参加頂き、トークイベントを開催します。

テーマは“芸術を通じた大分再発見”ですが、テーマを超越した楽しいトークが繰り広げられるのではないのでしょうか・・・。

- (1) 日 時 平成29年10月6日(金) 16:00~17:30
- (2) 場 所 大分県立美術館 研修室
- (3) 参加者 画 家 山口 晃 様  
ドーンデザイン研究所 水戸岡 鋭治 様  
JR九州代表取締役会長 唐池 恒二
- (4) テー マ “芸術を通じた大分再発見”
- (5) 定 員 80名 ※ 事前申込み制  
・ 専用のWebページ (<https://www.jrkyushu.co.jp/campaign/talk1006/>) にメール応募フォームを設けますので、聴講ご希望の方は注意事項をご確認の上、メールにてお申込みください。定員になり次第締め切ります。
- (6) 参加費 無 料



(Photo : Yohei Sogabe)

## 画家 山口 晃 (Yamaguchi Akira)

合戦図、時空の混在、更には画面を埋め尽くすように描き込まれた街の鳥瞰図等のモチーフを使い、観客を飽きさせないユーモアとシニカルさを織り交ぜた作風に代表される。直近の活動では横浜・馬の博物館での「馬の美術 150 選」において「既図 2016」完成披露を行っている。神社仏閣、企業等からのコミッションワーク（委託制作）が絶えず、メディアへの登場も多数。トークショー等の依頼も多く、イベントの度に熱心なファンが会場に訪れる。

1969 年 東京都生まれ 桐生市育ち

1994 年 東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業

1996 年 東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻（油画）修士課程修了

### 受賞歴

2013 自著『ヘンな日本美術史』（祥伝社）にて第 12 回小林秀雄賞

2001 第 4 回岡本太郎記念現代芸術大賞優秀賞

### 著書刊行物

2015 『探検！東京国立博物館』（藤森照信・山口晃 共著）（淡交社）

2013 『すゞしろ日記 弐』（羽鳥書店）

2013 『日本建築集中講義』（藤森照信・山口晃 共著）（淡交社）

2012 『山口晃 大画面作品集』（青幻舎）

2012 『ヘンな日本美術史』（祥伝社）

2009 『すゞしろ日記』（羽鳥書店）

2009 『さて、大山崎』（光村推古書院）

2006 『山口晃が描く東京風景—本郷東大界限』（東京大学出版会）

2004 『山口晃作品集』（東京大学出版会）

### 主な展覧会

2015 「山口晃展 前に下がる 下を仰ぐ」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城

2013 「山口晃展 画業ほぼ総覧？お絵描きから現在まで」群馬県立館林美術館

2012 「望郷 TOKIORE (I) MIX」メゾンエルメス 8 階フォーラム、東京

### 主なパブリックアート

科学技術館（東京） 「氣呑漫談」

静岡がんセンター 「階段遊楽圖」

大阪市交通局新庁舎 「大阪市電百珍圖」

成田国際空港 第一旅客ターミナル南ウィング 4 階「成田国際空港—南ウィング盛況の圖」  
「成田国際空港—飛行機百珍圖」

東京メトロ 1 3 号線 西早稲田駅「地下鐵道乃圖」

清安寺（岐阜県） 天井画 「五竜圖」

平等院 養林庵書院（京都府） 襖絵奉納

東京都健康長寿医療センター 「養育院幾星霜之圖」

山梨県立富士山世界遺産センター 「富士北麓參詣曼荼羅」